

公益社団法人日本アメリカンフットボール協会
2022年度事業計画

2022年度（2022年4月1日～2023年3月31日）は日本アメリカンフットボール協会（Jafa）にとって公益社団法人としての第10期となる。協会運営体制を整備し、定款・規則・規程に則った協会運営を進めて行く。

1) 日本スポーツ協会公認指導者養成事業

定款第5条第1項第1号に関連する事業として、公益財団法人日本スポーツ協会（JSPO）が主催する公認スポーツ指導者養成事業の一つとして、アメリカンフットボール競技に関する公認コーチ資格の専門科目講習会を開催する。

公認指導者養成講座の専門科目のためのテキストとして、「ショルダータックリング」「ヘッズアップ・ブロッキング」、「ドリルブック（1）」「ドリルブック（2）」を発行してきた。昨年度作成した「からだづくりハンドブック」も加え、指導者向けのテキストを充実して行く。

更新時期を迎える公認コーチ資格保有者に対する特別講習を計画的に開催するとともに、資格保有者に対して特別講習の受講を促す。

2) コーチクリニック、フットボール教室

定款第5条第1項第1号に関連する事業として、コーチクリニック、フットボール教室を開催する。

重大事故の未然防止等、選手の安全を守る観点から、ユースならびに高校生、あるいは大学入学後に初めてフットボールを始める選手たちを対象にした研修を行う。

公認指導者養成講座専門課程のテキストである「ショルダータックリング」ならびに「ヘッズアップ・ブロッキング」を活用した研修や、Jafa が監修、発行する「からだづくりハンドブック」を活用し、からだづくりプログラムも並行して進めていく。

加盟団体からの要請に基づき「Jafa フットボールアカデミーキャンプ」を実施する。

また、フラッグフットボールに関しては、国際大会のルールを浸透させることを目的に講習会を開催する。

開催予定は以下のとおりである。

- ・2022年5月：フレッシュマンクリニック（関西学生連盟）
- ・2022年5月：ヘッズアップアカデミー（東北学生連盟）
- ・2022年6月：ヘッズアップアカデミー（東海学生連盟）
- ・2022年7月：ヘッズアップアカデミー（北海道学生連盟）
- ・2022年9月：フラッグフットボールルール説明会（九州フラッグフットボール協会）
- ・2023年3月：ヘッズアップアカデミー（日本プライベートフットボール協会）
- ・2023年3月：ヘッズアップアカデミー（九州学生連盟）

- ・ 2023年3月：ヘッズアップアカデミー（中四国学生連盟）
- ・ 2023年3月：ヘッズアップアカデミー（東海学生連盟）

※「JFA フットボールアカデミー」は日本スポーツ振興センターのくじ助成を受けて実施します。

3) 川崎市のまちづくり推進とアメリカンフットボールの普及活動

定款第5条第1項第1号及び第11号に関連する事業として、2006年に締結した川崎市との協定に基づき、川崎市のまちづくり推進連絡協議会に参加し、アメリカンフットボールを活用した川崎市のまちづくりと、川崎市におけるアメリカンフットボールの普及発展に努める。

2015年4月からアメリカンフットボール準専用スタジアムとして運用開始された川崎富士見公園内の「富士通スタジアム川崎」を活用し、アメリカンフットボール関連競技団体及び指定管理者との協力体制のもと、「富士通スタジアム川崎」で開催するアメリカンフットボールの試合に多くの観客を集めるとともに、川崎市商工会議所や川崎駅広域商店街連合会の協力を得て、アメリカンフットボール（フラッグフットボール含む）の市民スポーツとしての定着を図る。

また、川崎市内小学校へ向けたフラッグフットボールの巡回指導を開催する。6月～3月にかけて川崎市内の小中学校の体育の授業でフラッグフットボールの授業を指導する。

※川崎市民にアメリカンフットボールを知ってもらうための普及・PR活動、フラッグフットボールの小中学校への巡回指導は川崎市からの助成を受けて実施します。

4) 国際競技力向上に向けた取り組み

定款第5条第1項第2号に関連する事業として、各世代の有力選手を募りクリニックや合同練習を行い、日本代表候補選手の育成、競技力向上を目指す。また、活動を通して指導者の交流や指導力の向上にも役立てる。国内での練習、試合、合宿、および必要に応じて海外での合宿等も行う。

① U15・U17 フラッグフットボール国際試合（世代：14～17歳、男女）

2022年6月にアメリカ合衆国ミシガン州で開催される、フラッグフットボール国際試合。15歳以下、17歳以下、男女それぞれの4チームを派遣する。合同練習、国際試合を経験することによって、ジュニア世代フラッグフットボール選手の競技力向上を図る。

- ・ 2022年4月 関東地区合同練習、関西地区合同練習、各1回
- ・ 2022年5月 関東地区合同練習、関西地区合同練習、各1回
- ・ 2022年6月 アメリカ遠征（5日程度）

② フラッグフットボール日本代表候補、合同練習（世代：16歳以上、男女）

- ・ 2022年4月～2023年3月 関東・関西それぞれで、月1回開催、

日本代表候補選手合同練習を行う

- ③ フラッグフットボール日本選手権を開催する（世代：6歳以上）
フラッグフットボール日本選手権を主催し、フラッグフットボール日本代表候補選手の発掘および強化を行う。
- ・ 2022年12月：フラッグフットボール日本選手権開催（小学生・中学生）
 - ・ 2023年3月：フラッグフットボール日本選手権開催（高校生以上）
- ④ シニア日本代表候補選手発掘・合同練習（世代：20歳以上）
2023年7月ドイツで開催されるアメリカンフットボールシニア世界選手権に向け合同練習を行い、シニア日本代表候補選手の発掘および強化を行う。
- ・ 2022年6月：関東地区合同練習、関西地区合同練習、各1回実施
 - ・ 2023年1月：関東地区合同練習、3回実施
- ⑤ クロスオーバーアスリート合同トライアウト（世代：16歳以上）
他競技経験者の中からアメリカンフットボール選手として活躍できる人材を発掘し、大学でこの競技に取り組んでもらう環境を整備する。高校生を対象にトライアウトを実施する。
- ・ 2022年7月および8月各地区学生連盟4地区 各1回実施
- ⑥ 地域クラブ活動支援プログラム（世代：16歳以上）
長期育成プログラムの趣旨に沿った、高校生クラブ活動を行う団体に対して、立ち上げや活動等の支援を実施。自立したクラブとして、活動できるように、各参加団体の協力を得ながら、活動の支援を行なっていく。
- ・ 2022年は関東地区に取り組む、4月から段階的に実施
- ⑦ 海外リーグへ挑戦する選手を発掘する（世代：20歳以上）
国際競争力向上の為、国内トップレベル選手が海外リーグ参加へ挑戦出来る環境を整える。世界のトップレベルである北米のプロリーグ等の挑戦を後押しする。
- ・ 2023年3月 カナディアンフットボールリーグ、トライアウト実施

※「国際競技力向上に向けた取り組み」①②は日本スポーツ振興センターのくじ助成を受けて実施します。

5) アメリカンフットボール日本選手権「ライスボウル」の開催

定款第5条第1項3号に関連する事業として、アメリカンフットボール日本選手権「第76回ライスボウル」を主催する。アメリカンフットボールファンのみならず、競技で随一の知名度を誇るボウルゲームとして、今後とも多くのお客様に楽しんでもらえる日本選手権として定着させ

ていく。

6) 高校生連盟・中学生連盟の主催試合等に対する後援ならびに助成

定款第5条第1項第3号に関連する事業として、高等学校連盟や中学生協会が主催する試合（日本選手権、選抜チーム対抗戦など）を後援する。

高校生連盟に対しては、2021年度に引き続きクリスマスボウル（全国高等学校アメリカンフットボール選手権）と、ニューイヤーボウル（関西高校連盟選抜・関東地区選抜対抗戦）を後援、助成を行う。中学生連盟に対しては、情報共有を図りながら、幅広く活動を支援する。

7) 国際試合の主催・後援

定款第5条第1項第4号に関連する事業として、以下の国際試合を後援する。

① 第9回 TOMODACHI BOWL

対戦：米軍基地内ハイスクール代表チーム vs U-19 日本選抜チーム（関東主体）

主催：一般社団法人関東学生アメリカンフットボール連盟

主管：一般社団法人関東学生アメリカンフットボール連盟

後援：公益社団法人日本アメリカンフットボール協会

日程：2023年3月

会場：未定

② 第1回 JAPAN ○○BOWL（名称未定）

対戦：日本選抜チーム vs 米国大学選抜チーム

主催：一般社団法人日本社会人アメリカンフットボール協会

主管：一般社団法人日本社会人アメリカンフットボール協会

後援：公益社団法人日本アメリカンフットボール協会

日程：2023年1月

会場：未定

8) 国際試合へのチーム派遣

定款第5条第1項第4号に関連する事業として、国際アメリカンフットボール連盟（IFAF）等が主催する国際試合に日本代表チームを派遣する。

また、将来国際総合競技大会へアメリカンフットボール競技が採用されるような働きかけを継続して行う。

① 国際総合競技大会「ワールドゲームズ2022」に日本代表チームを派遣する

・ワールドゲームズ2022

日 程：2022年7月7日～17日

会 場：アメリカ合衆国、アラバマ州、バーミングハム市

主 催：国際ワールドゲームズ協会（IWGA）

参加種目：女子フラッグフットボール

② アメリカンフットボール競技の国際総合競技大会採用を目指した活動を行う

IFAF と連携し、今後のワールドゲームズ、およびオリンピックなどに継続してアメリカンフットボールが採用されるよう、働きかけを継続する。

※「国際試合へのチーム派遣」①は日本スポーツ振興センターの基金助成を受けて実施します。

9) 国際試合への審判員の派遣

定款第5条第1項第4号に関連する事業として、国際試合に審判員を派遣する。

2022年度は、IFAF 等の要請に応じ2022年7月にアメリカ合衆国、アラバマ州で開催される「ワールドゲームズ2022」に審判員派遣を行う。

10) 競技規則の制定・告知・頒布

定款第5条第1項第5号に関連する事業として、競技規則委員会（2022年3月開催）の決定に基づき、アメリカンフットボール競技の2022年度公式規則について、2021年度公式規則からの変更内容を決定し、4月発行予定の2022年度・公式規則変更予定報および7月発行予定の2022年度・公式規則変更内容・決定報を通じて、加盟団体に周知する。また、8月に2022-2023公式規則・公式規則解説書（ルールブック）を発行する。

11) 安全対策に関する周知活動及び医科学研究会

定款第5条第1項第6号に関連する事業として、フットボールシーズン終了後（2023年2月）に安全対策全国会議、医科学研究会を開催するとともに、安全対策の普及を図る。

①安全対策全国会議の開催

JAFPA、加盟団体の安全対策担当者が一堂に会して、重大事故や試合時外傷の発生状況について情報を共有し、安全対策を討議する。

②医科学研究会の開催

アメリカンフットボールに密接に関連する医科学分野の医師、トレーナー、指導者が一堂に会して、当該年度に発生した重大事故、医科学分野における新たな知見等の情報を持ち寄って、選

手の安全確保のための情報共有、意見交換を行う。

③安全対策ハンドブックの改訂

2018年に作成した安全対策ハンドブックの一部を修正し、ホームページで公表する。

1 2) ドーピング検査

定款第5条第1項第6号に関連する事業として、(公財)日本アンチ・ドーピング機構の指定によりライスボウルにおいてドーピング検査を実施する。

※「ドーピング検査」は日本スポーツ振興センターのくじ助成を受けて実施する。

1 3) アンチ・ドーピング講習会

定款第5条第1項第6号に関連する事業として、アンチ・ドーピング講習会を開催する。多くの指導者、選手はアンチ・ドーピングの主旨は理解しているものの、禁止薬物に関する知識、持病等で処方を受けている薬物の事前申請(TUE)、居場所情報提出などの手続きなどについて十分な知識を有しているとは言い難く、2022年10月～11月にかけてアンチ・ドーピング講習会を開催する。また、ワールドゲームズに出場する選手にも5月～6月にかけて講習会を開催する。

1 4) 受講者推薦(日本スポーツ協会公認スポーツドクター及びアスレティックトレーナー養成講座)

定款第5条第1項第6号に関連する事業として、日本スポーツ協会が主催するスポーツドクター養成講座、及びアスレティックトレーナー養成講座の受講生を推薦する。医・科学委員会が、受講希望者の中から日本スポーツ協会の受講者選考基準に適合するものを選考して推薦する。

1 5) アメリカンフットボールに適した競技場の設置促進

定款第5条第1項第7号に関連する事業として、あらゆる機会をとらえて、国、地方自治体その他の競技場または競技場用地所有者に対して、アメリカンフットボールに適した競技場の設置促進を働き掛ける。

川崎市、川崎富士見公園内にはアメリカンフットボール準専用スタジアム「富士通スタジアム川崎」があり、周辺に緑を配置したスポーツ活動の拠点となる空間を整備する計画がある。

2022年度には照明塔の改修工事が予定されており、川崎市と連携しながら改修工事に協力をしていく。

1 6) CFO 会議への競技規則委員派遣・参加

定款第 5 条第 1 項第 5 号及び第 8 号に関連する事業として、全米大学体育協会（NCAA : National Collegiate Athletic Association）の公式規則変更、公式規則適用の状況を正確にかつ迅速に把握するために、米国 CFO（College Football Officiating LLC）が主催するフットボール・コーディネーター・ミーティングに競技規則委員を派遣する。

・派遣時期 フットボール・コーディネーター・ミーティング：2023年1月

また、上記に加え審判技術取得のためにナショナル・レフェリー・カンファレンス、及びナショナル・インスタントリプレー・クリニックにも関係者を派遣する。

・派遣時期 ナショナル・レフェリー・カンファレンス : 2022年5月
ナショナル・インスタントリプレー・クリニック : 2022年5月

1 7) WEB サイトによる情報発信

定款第 5 条第 1 項第 9 号に関連する事業として、Jafa 専用 WEB サイトを活用して、Jafa 及びアメリカンフットボールに関する情報を発信する。

Jafa 公式 WEB サイト運用の充実と共に、今年度は日本代表などのページを再整備する。本協会の公報としての役目を果たすために WEB サイトを活用した情報公開を実施する。

1 8) 殿堂顕彰

定款第 5 条第 1 項第 10 号に関連する事業として、日本アメリカンフットボールの殿堂にて第 5 回までの殿堂顕彰者を紹介するための紹介ページを日本アメリカンフットボール協会 HP の殿堂ページに掲載し、日本のアメリカンフットボールの歴史のページに掲載する。

1 9) 関係団体・機関との情報交換・連携

定款第 5 条第 1 項第 11 号に関連する事業として、国際アメリカンフットボール連盟 (IFAF)、独立行政法人日本スポーツ振興センター (JSC)、公益財団法人日本スポーツ協会 (JSPO)、公益財団法人日本オリンピック委員会 (JOC)、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構 (JADA)、公益財団法人日本スポーツ仲裁機構 (JSAA)、一般財団法人日本トップリーグ連携機構 (JTL)、一般社団法人大学スポーツ協会 (UNIVAS)、NPO 法人日本ワールドゲームズ協会など関係団体・機関と密に情報交換を行い、連携して活動する。

以上